



World Health Organization

[www.who.int/tb](http://www.who.int/tb)

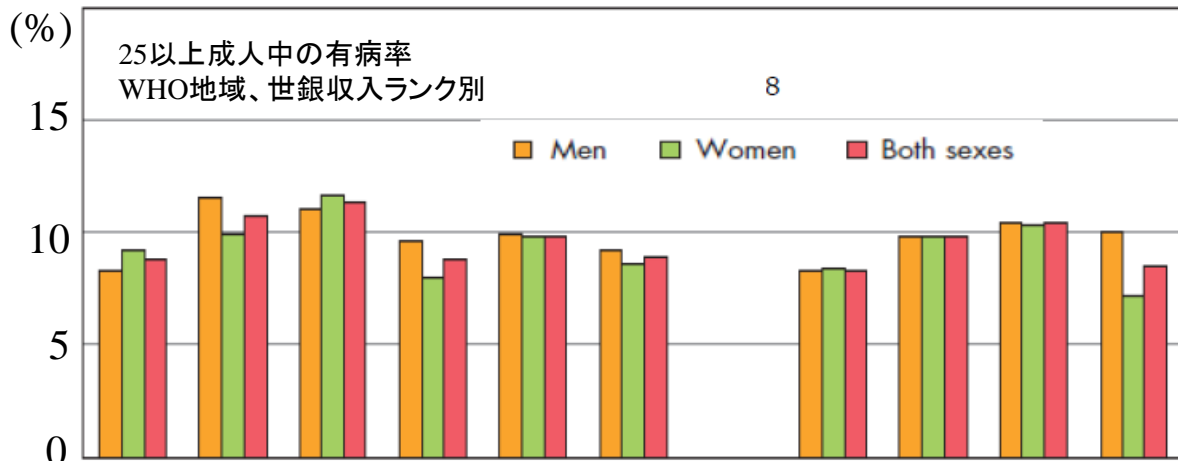
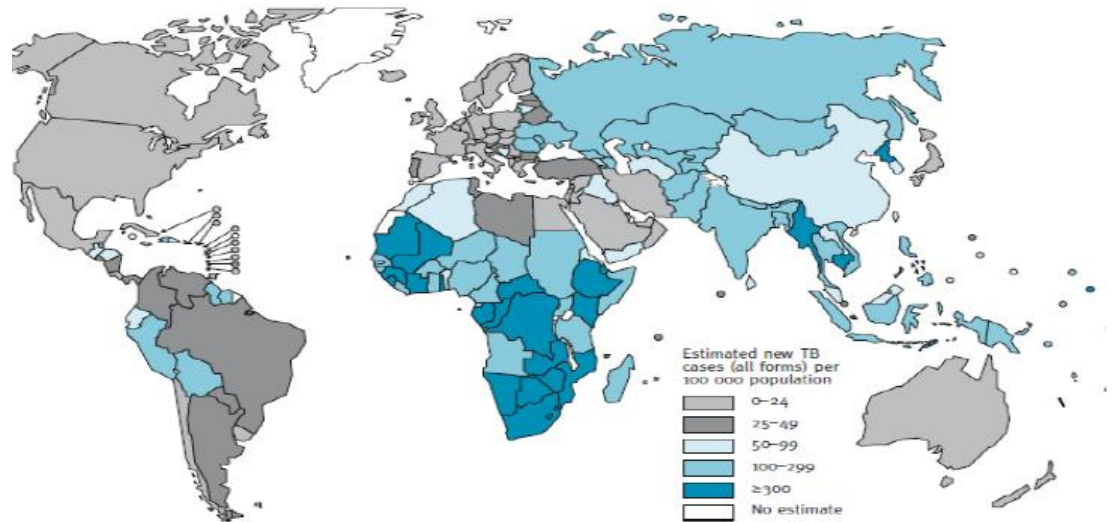
THE STOP TB DEPARTMENT

# 結核と糖尿病

## 結核と糖尿病の治療とコントロールのための共同フレームワーク

### 結核の現状

- ・毎年9百万人以上の人々が結核になっている
- ・毎年1.5百万人以上が結核によって亡くなっている。死者の大多数は、開発途上国である。
- ・世界の3人に1人は、結核に感染している（潜在性結核感染症）。潜在性結核症の人々は、生涯にわたり活動性結核に進展し、発病するリスクをもっている。



### 糖尿病の現状

- ・350万人の人々が糖尿病である
- ・糖尿病の有病率は、高所得国と低所得国の両方で類似している。
- ・糖尿病による死亡の80%以上が、低所得国と中所得国で起こっている。
- ・2030年までに世界の糖尿病有病率は、50%まで増えると予測されている。

# 結核と糖尿病の関連

- ・糖尿病のような慢性疾患をもった人ではその結果として免疫系が弱くなり、潜在性結核感染から活動性結核へ進むリスクが高くなる。

- ・糖尿病患者は、糖尿病でない人々と比べて2-3倍結核になるリスクがある。

- ・世界的に見て、結核患者の10%は糖尿病と関連がある。

- ・結核と同様に糖尿病のほとんどの人々は、診断されていないか、診断が遅すぎる。早期発見は、両方の病気の治療やコントロールの改善に役立つ。

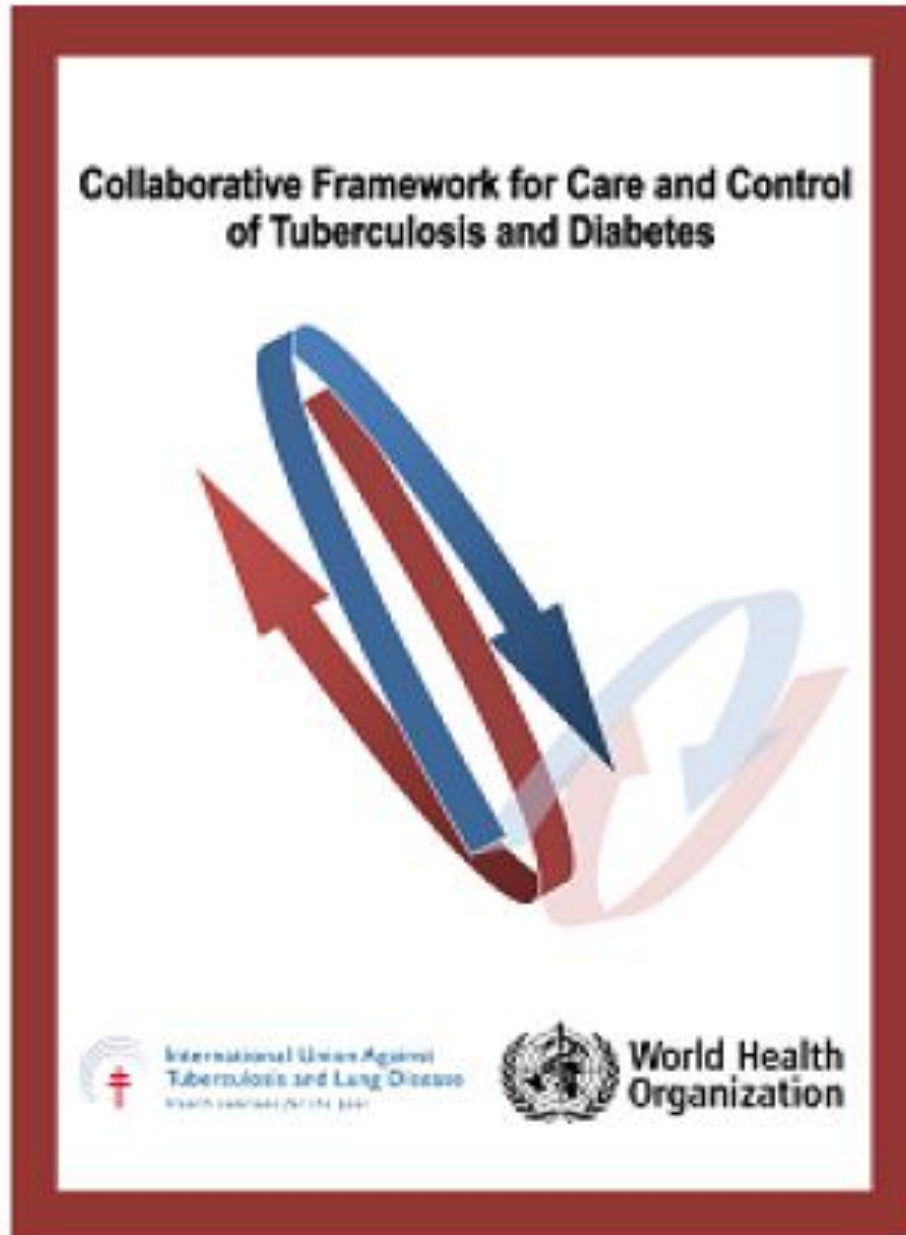
- ・糖尿病患者について結核の検査を考慮する。特に結核有病率の高い状況では必須である。

- ・すべての結核患者は、糖尿病の検査を受けるべきである。

- ・糖尿病患者で結核と診断された場合、結核の治療中に死亡したり、治療後に結核が再発するリスクが高い。糖尿病合併結核の患者には、WHO推奨の治療を厳密に行われなければならない。

- ・糖尿病は、結核を含む感染症を合併しやすい。結核と糖尿病を病む人々にとって糖尿病の適切な医療はとくに重要である。

# WHOとパートナーによるアクション



世界保健機関と世界肺結核肺疾患連合は、他のパートナー、各国の国家結核プログラムや学識者と協力して、「結核と糖尿病の医療とコントロールのための共同フレームワーク」を、結核と糖尿病に関連する系統的なレビューに基づき作成した。

フレームワークは、

- ・ 糖尿病と結核の予防と医療のための共同活動の推奨
- ・ 共同活動の評価指標
- ・ 共同活動の実施と評価

についての章が含まれている。

この文献は以下からダウンロードできる

[www.who.int/tb/publications/2011](http://www.who.int/tb/publications/2011)

## 共同フレームワークの3つのアクション分野

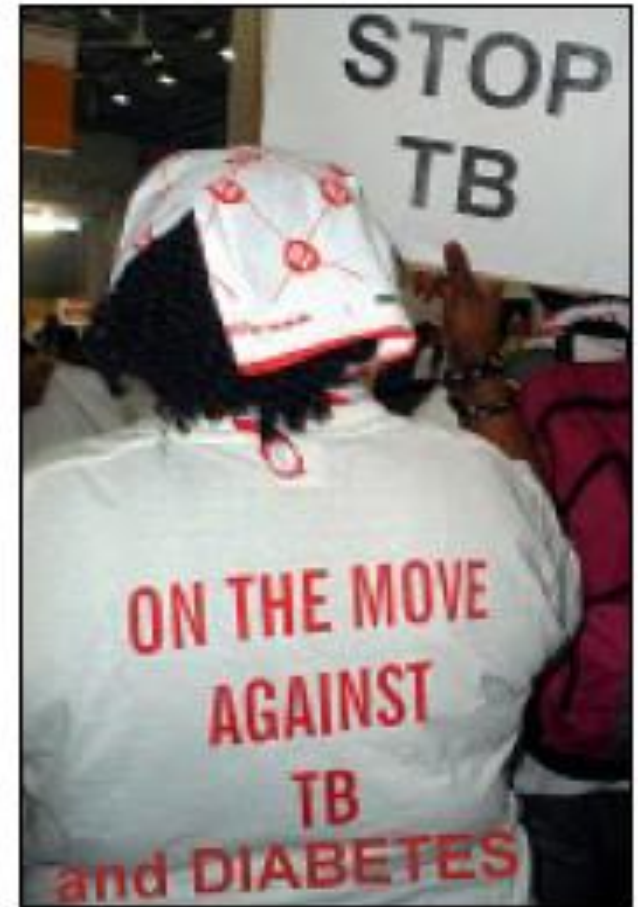
- A -	共同のためのメカニズムの設立
1	糖尿病と結核の活動の協調方法を設定する
2	結核中負担国および高負担国で、糖尿病の人々を対象に結核有病率サーベイランスを実施する
3	すべての国において結核患者の糖尿病有病率のサーベイランスを実施する
4	糖尿病と結核の共同活動のモニタリングと評価を実施する
- B -	糖尿病患者における結核の発見と管理
1	糖尿病患者における結核発見の状況を把握する
2	糖尿病の治療施設における結核感染予防を確保する
3	糖尿病患者に対する質の高い結核治療と管理を保証する
- C -	結核患者における糖尿病の発見と管理
1	結核患者に対する糖尿病のふるい分け検査を行う
2	結核患者における質の高い糖尿病管理を確保する

## あなたの意見をお聞かせください

いくつかの国で結核/糖尿病共同フレームワークの現地試行が計画されています。WHOと国際結核肺疾患予防連合はさらに多くの国がこれに参加することを奨励し、またそのような事業の計画や結果についての情報を希望しています。

詳しい情報については以下までどうぞ。:

- WHO Stop TB Department: Knut Lonnroth [lonnrothk@who.int](mailto:lonnrothk@who.int)
- WHO Department of Chronic Diseases and Health Promotion: Gojka Roglic [roglicg@who.int](mailto:roglicg@who.int)
- The Union: Anthony Harries [adharries@theunion.org](mailto:adharries@theunion.org)



(翻訳: ストップ結核パートナーシップ日本)

## 日本でも結核と糖尿病の呪いのデュエットです

2011年に結核を発病した22,681人中3,117人(13.7%)が糖尿病を合併していました。糖尿病を合併した結核は、そうでない結核と比較して、①重症化しやすい、②治療が効きにくい、③死亡につながりやすい、④いった治ったあと再発しやすい、といった問題があります。

一般人口と比較した場合結核患者では明かに糖尿病の有病率が高く、全年齢で2.3倍、また年齢別に見てとくに30-59歳では4-6倍にもなります。糖尿病の患者は結核の発病にとくに注意をする必要があります。

